

<資料>

Future Funk 実践の諸相

-Vaporwave, City Pop revival の狭間にあった「未来のファンク」 - Various Aspects of Future Funk Practice -The “Mirai no Funk” Between Vaporwave and City Pop Revival-

木下翔太郎*

Shotaro Kinoshita

I. はじめに

インターネットミュージックシーンにおいて Future Funk というジャンルがある。詳細は後述するが、このジャンルが最も盛んだったのは 2010 年代であり、本稿執筆時点ではそのブームは落ち着きつつある。筆者は、Future Funk という音楽ジャンルそのものや、そのクリエイターたちの実践に強い関心を持っており、以前から資料を収集するなどして発表の機会を探っていた。そうした中で、SoundCloud 上で「#future funk」のタグ付けがされている楽曲のうち「Popular Tracks」に分類される楽曲について分析することを思い立ち、2025 年 6 月 1 日時点の楽曲をリスト化し、作業を開始していた。なお、筆者がこのタイミングで Future Funk について整理しようと考えたのは、ジャンルの誕生から 10 年程度が経ち、多くのクリエイターがこのジャンルから撤退する程度にブームも収束しているため、「過去の流行」として冷静な振り返りをしやすくなったと認識していたからである。

しかし、そのような認識で作業を開始して間もない 2025 年 6 月 16 日に衝撃的なニュースが飛び込んできた。K-POP のトップアイドルグループの 1 つ「ILLIT」[‡]が同日発売したアルバムのタイトル曲「Billyeon Goyangi (Do the Dance)」において、日本のアニメ映画『ファイブスター物語』(1989 年 3 月 11 日公開) の BGM がサンプリングされていることが報道されたのである[§]。たまたま筆者はこの報道を目にする前に同楽曲を聴いており、ダンスミュージック以外の楽曲をサンプリングし、テンポを上げて 4 つ打ちビートを重ねるイントロに Future Funk の雰囲気強く感じ取っていたが、サンプリング元は全く想像がつかっていなかった。報道をみてとても驚いたのは、サンプリング元となった BGM が使われているアニメ映画を筆者は何度も視聴していたということと、このサンプリング元の選び方が Future Funk 実践そのものだと感じられたからである。

Billyeon Goyangi (Do the Dance) においてサンプリングされた BGM 「優雅なる脱走」は、同

* 東京大学大学院学際情報学府

† 慶應義塾大学医学部ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座

‡ 2024 年にデビューし、同年「第 66 回日本レコード大賞」において新人賞、「2024 MAMA AWARDS」において Best New Female Artist を受賞。5 人のメンバーのうち 2 人が日本人である。

§ 例えば Kstyle (<https://kstyle.com/article.ksn?articleNo=2262991>)、スポニチアネックス (<https://www.sponichi.co.jp/entertainment/news/2025/06/16/kiji/20250616s00041000318000c.html?page=1>) など

アニメ映画で繰り返し使われるようなメインテーマではなく、作中の1シーン**で1分程度使われたのみで、映画本編を何度か視聴していた筆者であっても、聞いても思い出すことができない程度にはマイナーなBGMである。同アニメ映画の音楽を担当した作曲家の朝川朋之氏も、この決して有名とはいえないBGMがサンプリングされたことについて驚きを述べている††。

---2024年日本レコード大賞で新人賞を受賞したK-POPグループ「ILLIT(アイリット)」。彼女たちの新作ミニアルバム『bomb』のタイトル曲「Billyeon Goyangi (Do the Dance)」で、私の楽曲がサンプリングされちりばめられました。使用されたのは、1989年公開のアニメ映画『ファイブスター物語』の劇中音楽「優雅なる脱走」の一部。劇中音楽として作った数十曲の中の一曲にすぎなかったこの曲に、時を越えて新たな命が吹き込まれるとは夢にも思いませんでした。(中略)。最初、連絡をいただいたときは曲もまったく思い出せないばかりか何のことかさっぱりわからず戸惑い、驚くばかりでした。---

昨今のK-POPの楽曲の中には過去の日本人の楽曲を引用・サンプリングする例もみられているため‡‡、日本の楽曲がサンプリングされること自体に目新しさはない。しかし、このような作曲者本人も認めるようなマイナーな音源をサンプリングするということは他の例と異なるものである。なお、Billyeon Goyangi (Do the Dance)の歌詞・MVの内容ともに「脱走」というテーマとは関連もなく、ファイブスター物語との接点もない。さらに、同BGMが使われた映画ファイブスター物語についても、原作となった漫画自体はアニメ雑誌『月刊ニュータイプ』(角川書店)で1986年から連載され続けている有名作品ではあるが、その第1話のみを映像化した36年前の映画は、現代においては相当程度にコアなファンしか言及しないマイナーな作品といっても過言ではない。そのため、Billyeon Goyangi (Do the Dance)においては、ILLIT側がサンプリング元を公表しなかったら、元ネタについてほとんど言及されなかった可能性もある。しかし、サンプリング元が「80年代」の「日本のアニメ」のBGMである、とあえて公表したことで、同楽曲がFuture Funk実践だと印象付け§§、話題を集めることに成功している。

前述のとおり、Future Funk そのものはインターネットミュージックシーンにおける過去のブームとして捉えられているものであるが、ジャンルとして音楽ファンの間で一定程度の認知を得てきたこと、またメジャーシーンにおいても採用されうる独自性をもっていることを、ILLITのBillyeon Goyangi (Do the Dance)を巡るメディアの報道やファンの反響において確認することができる。このように再注目されたタイミングにおいて、改めてFuture Funkについて振り返るため、本稿ではFuture Funkを巡るこれまでの議論の整理を行った上で、筆者が行った調査の

** クローソーがユーパー大公の元から脱走するシーン

†† <https://www.facebook.com/harp47/posts/2024年日本レコード大賞で新人賞を受賞したk-popグループillitアイリット彼女たちの新作ミニアルバムbombのタイトル曲billyeon-goyang/2956608671177878/>

‡‡ 例えばNewJeans「Supernatural」(2024年6月)におけるManami「Back Of My Mind」(2009年10月)の引用、IVE、David Guetta「Supernova Love」(2024年11月)における坂本龍一「戦場のメリークリスマス」(1983年5月)のサンプリングなど

§§ 例えばReal Sound (<https://realsound.jp/2025/06/post-2061305.html>) など

一部について速報的に紹介する。

II. Future Funk の誕生とその影響

インターネットミュージックシーンにおいて、Future Funk の登場に先立ち、Vaporwave という音楽ジャンルが存在していた。Vaporwave は「1980 年代のポップスや店内 BGM などの音源の音質やスピードを落とし、延々とループさせる音楽」などと説明されるジャンルであり¹⁾、2010 年代前半にネット上で誕生・流行したとされている。Vaporwave はアンビエントなどの環境音楽との類似性も指摘されるような、ゆるやかな、”踊れない”音楽であり²⁾、「時折差し挟まれる不協和音や落ち着きのないフレーズの過度な反復、異様な印象を与えるまでにピッチダウン（再生速度を維持したまま音程だけを下げるときのサウンド処理）させたボーカルトラックは（中略）ときに不安に、ときに不快にさせる」と形容されることもあるような³⁾、アンダーグラウンドな印象の強いジャンルである。また、Vaporwave は 80 年代の音楽をサンプリングするだけでなく、その時期のテレビ CM などの古い映像を組み合わせた動画やアートワークと合わせて拡散されており、資本主義的な大量消費文化に対する風刺・皮肉のニュアンスを読み取らせたり、経済的に豊かだった時代へのノスタルジックな感傷を呼び起こさせたりするような意図が込められている点が特徴的であるとされている^{4,5)}。

このような Vaporwave の流行の中で、インターネットミュージックシーンにおいて 80 年代の音楽をサンプリング・コラージュするという方法論が受け継がれていったとみられており、同様に 80 年代の音楽に焦点をあてたジャンルである Future Funk も Vaporwave のサブジャンルとしてみなされることが多い¹⁾。Future Funk は Vaporwave 同様に過去の音楽をサンプリングすることをメインとするジャンルであり、クリエイターも一部共通しているが、ディスコ、フィルター・ハウスなどのダンス・ミュージックを志向している点で音楽性としては全く別のものになっており²⁾、Vaporwave にあったような資本主義や大量消費文化への風刺・皮肉といった批評的な要素も失われている点が特徴である⁶⁾。最も初期の Future Funk は 2013 年頃に登場したとみられているが、同時期は Daft Punk がリリースした「Random Access Memories」（2013 年）というアルバムの影響で過去のディスコ・ミュージックを再解釈したダンス・ミュージックを作るという発想が広まったタイミングであり、Future Funk というジャンルの誕生には同アルバムの影響が大きかったとする見方もある²⁾。

Vaporwave と Future Funk において共通する点として、「日本的なもの」への注目がある。Vaporwave では、80 年代に最も資本主義・大量消費文化を体現している国の一つであり、多くの映像コンテンツ・記録がネット上に残されているバブル期の日本がクローズアップされることが多く、日本の曲をサンプリングしたり、アートワークに日本語の文字を使ったりするなどの Vaporwave 実践が多く行われていたことが指摘されている⁷⁾。Future Funk も同様に、豊かだった時代への憧憬として、日本の 80 年代の音楽・コンテンツがクローズアップされていること、特に日本のアニメの動画や画像が何らかの形で使われている事例が多いことが指摘されている⁷⁾。実際に、YouTube などのサイトにアップロードされている Future Funk 関連の楽曲は、80 年代の

日本アニメの一部のシーンを切り取ってループさせた動画とともに提供されていることが多いことがジャンル全体の特徴になっている⁶⁾。

Vaporwave、Future Funk の流行による影響の一つに、サンプリング元となる 80 年代の日本の楽曲の発掘・再発見が進んだことがある。Vaporwave の場合は、強烈なピッチダウンなどによりサンプリング元の楽曲の歌詞などが全く聞き取れなくなるケースも少なくないが、Future Funk の場合は、サンプリング元の楽曲のボーカルがはっきりと残ったままサンプリングされるケースが多く、サンプリング元の楽曲へのアクセスに繋がりがやすいという特徴がある。実際、2010 年代初頭～中盤にかけての両ジャンルの流行の中で、「シティ・ポップ」と称されるような 80 年代の日本の楽曲の評価が高まり、「プラスチック・ラヴ」(竹内まりや、1985 年) のように、Future Funk でのヒットをきっかけにサンプリング元楽曲の世界的流行に繋がったケースもあるとみられている⁸⁾。これらの流れで生じたシティ・ポップのリヴァイヴアルの特徴は、過去に日本でヒットした楽曲を当時聴いていた世代が懐かしむという文脈で再注目されたのではなく、インターネットミュージックシーンでの注目を機にネット上でアクセスが増えたことで、YouTube などのアルゴリズムによってレコメンドされるようになり新規のファンが増えたという点であり、AI アルゴリズムによって作られた文化現象としてみる向きもあり興味深い⁹⁾。

筆者は、この点に注目し、Future Funk において取り上げられる日本の楽曲・アニメが、どの程度、日本の過去の流行と異なっているか、ということを目視化するための調査を行った。

Ⅲ. 調査方法・結果

Vaporwave や Future Funk のクリエイターたちが楽曲を公開するプラットフォームの一つである SoundCloud を対象に調査を行った。楽曲のタグ検索で「# future funk」で検索を行い、そのうち 2025 年 6 月 1 日時点で「Popular Tracks」に該当する楽曲 309 曲をリスト化し、内容を精査した。309 曲のリストの中から、サンプリングなどの手法を使っておらず音楽性として Future Funk と共通する部分がほとんどみられないもの、単に既存のシティ・ポップ楽曲などをそのままアップロードしているもの、クリエイター本人以外がアップロードしたものを除き、発表時期やサンプリングされている楽曲、楽曲につけられているサムネイル画像の特徴や、クリエイターの国籍などについて整理した。なお、備考欄に記載したクリエイターの情報については Bandcamp などの外部サイトから得た情報も加えている。

本稿執筆時点で全ての整理が終わっていないが、現在までに整理が終わっている分について表 1 に示す。なお、このようなネット上での音楽のサンプリング・リミックスは著作権者に正式な許諾をとっていないケースが多いが、筆者の立場でその全てを確認することが不可能であることと、本稿の目的が著作権違反の状況調査ではなくインターネットミュージックシーンにおいてどのような実践が行われているかという事象の観測にあることから、本稿ではあえて著作権上の問題については触れず、観測された事象について曲名・クリエイター名を伏せて記載し整理を行なった。

			年)、 Cheryl Lynn 「Got To Be Real」 (1978年)、 Nujabes 「Shiki no Uta」 (2004年)	Be Real」 (Cheryl Lynn 、1978年) のジャケット画像	アメリカ (カリフォルニア)。
F**** **n	サ*****E	2019年頃	杏里「First Season」 (1998年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	メインのタグは「Japanese Disco」。プロフィール画像はアニメ風イラスト。Bandcamp 掲載情報では拠点はペルー。
ヒ*ル	b**e	2025年	和田加奈子「誕生日はマイナス 1」 (1987年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「きまぐれオレンジ☆ロード」 (1987-1988年)	拠点はフランス (パリ)。
T* **u	S**** **a	2018年頃	Michael Wycoff 「Looking Up to You」 (1982年)	ファンアート: テレビアニメ「うる星やつら」 (1981年)	拠点はメキシコ (グアダラハラ)。
C*** ** ** ***** *****ネ	S** **I	2018年頃	Malyda, Fariz RM 「Galau Asmara」 (1990年)	女性の写真(詳細不明)	サンプリング元明記あり。拠点はベリーズ。
月* **** **G	ミ*** ** **E	2016年頃	辛島美登里「夏色物語」 (1991年)	オリジナル(漫画風イラスト)	Bandcamp 掲載情報では拠点は日本 (横浜)。
B***** *****m	G**** **A	2016年頃	杏里「Last Summer Whisper」 (1982年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	メインのタグは「PlagiarismStep」。Bandcamp 掲載情報では拠点はアメリカ (テキサス)。
O*****ス	ク*****E	2018年頃	森川美穂「グラデーション」 (1987年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「きまぐれオレンジ☆ロード」 (1987-1988年)	Bandcamp 掲載情報では拠点はアメリカ (ニューオーリンズ)。
A*** * **** ** ** ***** *****)	R***A	2016年頃	杏里「Stay by me」 (1983年)	キャプチャ画像: 漫画「YAWARA！」 (1986-1993年)	サンプリング元明記あり。プロフィール画像はキャプチャ画像: 漫画「YAWARA！」 (1986-1993年)。拠点は日本 (沖縄)。
I* *** **y	S*****d	2018年頃	In The Sky feat. TeN 「A Hundred Birds」 (2005年)	アジア系女性の写真 (詳細不明)	メインのタグは「J-Mellow」。サンプリング元明記あり。拠点はアメリカ (ニューヨーク)。
I*****t	S** **I	2019年頃	中森明菜「月華」 (1994年)	オリジナル	メインのタグは「World」。拠点はベリーズ。

H***** * **** **** * **** ***** *****)	R***** *****u	2016 年頃	一十三十一「Feel Like Bayside Love」 (2013年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「ら んま 1/2」(1989 年)	拠点はメキシコ (メキシコシテ イ)。
と****く	サ*****E	2018 年頃	中原めいこ「So Shine」(1986年)	オリジナル(アニ メ風イラスト)	メインのタグは 「Japanese Disco」。 プロフィール画像 はアニメ風イラス ト。Bandcamp 掲載 情報では拠点はペ ルー。
S*****o	N****i	2017 年頃	nameless「ツギハ ギスタッカー 歌ってみた。」 (2014)	ファンアート(初 音ミク)	メインのタグは 「Staccato」。サン プリング元楽曲は、 とあ「ツギハギス タッカー - ft.初 音ミク」(2014年) のカバー。
【***** ** ** が	N***** **ル	2018 年頃	Muriel Dacq 「Tropique」(1986 年)	オリジナル	拠点はマレーシア (クアラルンプ ール)。
S***** ** ***** **y	L*** ***** **	2021 年頃	今井優子 「ESCAPE」(1988 年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「美 少女戦士セーラ ームーンセーラ ースターズ」 (1996-1997年)	拠点はアメリカ。
i**** *u	A****y	2017 年頃	杏里「SURPRISE OF SUMMER」 (1984年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「セ ーラームーン」シ リーズのいずれ か	プロフィール画像 に、セーラーム ーン風の女性イラス トあり。拠点はフ ランス(パリ)。
L*** **k	J*** **n	2016 年頃	Michael Jackson 「Baby Be Mine」 (1982年)	オリジナル(レコ ードジャケット 風画像、日本語 文字あり)	Bandcamp 掲載情 報では拠点はイギ リス(イングラン ド)。
M***** ****o	P**** **o	2021 年頃	Michael Fortunati 「Give Me Up」 (1986年)、BaBe 「Give Me Up」 (1987年)	ファンアート:テ レビアニメ「うる 星やつら」(1981 年)	サンプリング元明 記あり。プロフィー ル画像はアニメ 風イラスト。 Bandcamp 掲載情 報では拠点は韓 国。
ラ* * *****e	b**e	2025 年	杏里「Shyness boy」 (1983年)	キャプチャ画像: 映画「うる星やつ ら 2 ビューティ フル・ドリーマ ー」(1984年)	拠点はフランス (パリ)。
Y** * I	M*****i	2016 年頃	The Limit 「Destiny」(1985 年)	なし	メインのタグはな し。拠点はアメリ カ。
D***** ** *****oi	D****y	2022 年頃	エイミー(Amy) 「Party Night」 (1983年)	オリジナル	拠点はメキシコ。

			(1989年)		(立川)。
B** ***** * ***** ***** ***** ***** *****)	M***** *****r	2017年頃	Donna Summer 「Bad Girls」(1979年)	キャプチャ画像: レコード「Bad Girls」(Donna Summer)のジャケット	拠点はオーストラリア(メルボルン)。
T***h	N**** *****o	2017年頃	中原めいこ「魔法のカーペット」(1984年)	オリジナル	メインのタグは「Babymaker 2」。Bandcamp掲載情報では拠点は韓国(ソウル)。楽曲中にテレビアニメ「セーラームーン」の変身時の音もサンプリングされている。
U* *** ** *****E	k*****u	2021年頃	二名敦子 「COMMUNICATION」(1983年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	メインのタグが設定されていない。Bandcamp掲載情報では拠点はアメリカ(シアトル)。
A***** *****b	A*** ***** *****e	2015年頃	森高千里「海まで5分」(1998年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「きまぐれオレンジ☆ロード」(1987-1988年)	メインのタグは「Island Funk」。拠点はカナダ(バンクーバー)。
E*****s	D*****d	2020年頃	Krystal Davis「So Smooth」(1985年)	オリジナル(ゲーム風イラスト)	プロフィール画像もセーラームーンの画像。Bandcamp掲載情報では拠点はロシア(エカテリンブルク)。
P***** ***** ** **** **.	S** **l	2018年頃	吉田美奈子 「GIFTED」(1989年)	オリジナル	サンプリング元明記あり。拠点はベリーズ。
I***** ***** *a	T*** **m	2019年頃	Hoàng Yến Chibi 「Ngung làm bạn」(2016年)	ファンアート:漫画「ブレンド・S」(2014-2022年)。	メインのタグは「Kawaii Groove」。プロフィール画像はファンアート:漫画「ブレンド・S」(2014-2022年)。拠点はベトナム。
W*****d	M*****a	2020年頃	一三十一 「Chocolate Neverland」(2013年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「めぞん一刻」(1986-1988年)	拠点はアメリカ(カリフォルニア)。
R**** ***** * ***** ***** ***** ***** ***** **** ***** * *****)	F*****e	2019年頃	ROUND TABLE featuring Nino 「Dancing all Night」(2003年)	キャプチャ画像: 漫画「ジミコイ」(2014年)	メインのタグは「Anime Groove」。サンプリング元明記あり。拠点はアメリカ(デトロイト)。
S**** * ** *****	M*****i	2025	SAULT 「Son	キャプチャ画像:	サンプリング元明

***** * ***** *****)		年	Shine」(2020年)	テレビアニメ「新世紀エヴァンゲリオン」(1995-1996年)	記あり。拠点はイギリス(リーズ)。
c***** ***** e	c***** e	2015年頃	佐藤奈々子「サブタレニアン二人ぼっち」(1977年)	オリジナル(多数のブラウン管モニター)	拠点はカナダ(ノースバンクーバー)。
I**** *u	C***** s	2015年頃	The Sylvers 「Come Back Lover, Come Back」(1981年)	風景写真(原宿)	メインのタグは「Future Fuck」。サンプリング元明記あり。拠点はイギリス(スコットランド)。
p***** **ル	T*** **m	2018年頃	竹内まりや「プラスチック・ラヴ」(1984年)、少女時代「Gee」(2010年)	オリジナル(日本語文字)	プロフィール画像はファンアート:漫画「ブレンド・S」(2014-2022年)。拠点はベトナム。
S*y	M** **p	2015年頃	You & the Explosion Band 「Cosmic Cocktail (Love Saves The Earth)」(1978年)	オリジナル(漫画風イラスト)	拠点は日本。
S***** ***** ***** ***** **u	L*** ***** **	2020年頃	久保田利伸「LA・LA・LA LOVE SONG」(1996年)	キャプチャ画像:テレビアニメ「美少女戦士セーラームーン」(1992-1993年)	拠点はアメリカ。
F***** **r	S**** **a	2019年頃	二名敦子「堤防」(1987年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	拠点はメキシコ(グアダラハラ)。
G** *n	k***k	2025年	Jaki Graham 「What's the Name of Your Game」(1985年)	オリジナル(アニメ風イラストと日本語文字)	サンプリング元明記あり。Bandcamp掲載情報では拠点はフランス。
V** *橋	Z*****.	2024年頃	杏里「悲しみがとまらない」(1983年)	オリジナル(大橋節夫のレコードの帯部分と、コスプレ写真のコラージュ)	ゲーム「ポケモンファイアレッド」(2004年)のBGMもサンプリングされている。
M***y	J**** **i	2021年頃	山下達郎「MISTY MAUVE」(2002年)	オリジナル(ゲーム風イラスト)	プロフィール画像は漫画風イラスト。拠点はメキシコ。
A**** ***** *****)	A*****n	2023年頃	NewJeans「ASAP」(2023年)	著作権イラスト:NewJeans「ASAP」キービジュアル	メインのタグは「Nu-disco」。拠点はニュージーランド(オークランド)。
H** * ***** ***** **]	M***** **é	2025年	The Supreme Jubilees 「It'll All Be Over」(1979年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	サンプリング元明記あり。プロフィール画像はファンアート:漫画「きまぐれオレンジ☆ロード」(1984-1987

					年)。拠点はアルゼンチン。
E*****y	S**** **a	2018年頃	Shalamar 「Right in the Socket」 (1979年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	拠点はメキシコ(グアダハラ)。
E*A	s****e	2023年頃	NewJeans 「ETA」 (2023年)	キャプチャ画像: NewJeans	メインのタグは「 what's your ETA?」。
E*** **r	k***k	2025年	小川範子「永遠のうたたね」 (1988年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「美少女戦士セーラームーンセーラーズ」 (1996-1997年)	サンプリング元明記あり。Bandcamp 掲載情報では拠点はフランス。
S**** **y	T***** **y	2017年頃	Luther Vandross 「She's a Super Lady」 (1981年)	オリジナル(漫画風イラスト)	拠点はメキシコ。プロフィール画像はアニメ風イラスト。
S***** **u	D*****y	2015年頃	Dream 「SHINE OF VOICE」 (2005年)	漫画風イラスト (詳細不明)	メインのタグは「Japanese Disco」。プロフィール画像はキャプチャ画像: テレビアニメ「カードキャプターさくら」 (1998-2000年)。Bandcamp 掲載情報では拠点はベルギー。
M****e	S** **I	2019年頃	ラジ「グッド・バイ・トランスファー」 (1984年)	版権イラスト: レコード「新宿港」 (桜井京、1974年)ジャケットのイラスト(上村一夫)	サンプリング元明記あり。拠点はベリーズ。
K**p	A****s	2015年頃	Tavares 「Keep On」 (1981年)	オリジナル	拠点はアメリカ(ボストン)
w*** ** ***** ***** ** **	D**N	2018年頃	倉田まり子「白昼夢」 (1980年)	アニメ風イラスト (詳細不明)	拠点はカナダ(トロント)。
君*****ー	D**N	2017年頃	具島直子「Melody」 (1996年)	ファンアート: ゲーム「アイドルマスター シンデレラガールズ」 (2011年)	拠点はカナダ(トロント)。
B***** **y	V*****/	2016年頃	Ira Watson 「Breakin' Away」 (1982年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「セーラームーン」シリーズのいずれか	Bandcamp 掲載情報では拠点はフランス。
ハ*****ド	D*****y	2016年頃	杏里「Surprise of Summer」 (1984年)	キャプチャ画像: 漫画「ふたりのサンゴ礁」 (江口寿史, 1983年)	メインのタグは「Japanese Disco」。プロフィール画像はキャプチャ画像: テレビアニメ

					「カードキャプターさくら」(1998-2000年)。Bandcamp掲載情報では拠点はベルギー。
F***** *****e	h***o	2018年頃	4Luxury「花ざかりWeekend」(2018年)	オリジナル	メインのタグは「Anime Groove」。サンプリング元楽曲はゲーム『アイドルマスターミリオンライブ! シアターデイズ』(2017年)の楽曲。拠点はアメリカ(カリフォルニア)。
T*** ** *****)	H**** ** ***ん	2025年	Cosmograph「Take My MONEY!!」(2024年)	ファンアート:ゲーム『勝利の女神:NIKKE』(2022年)	メインのタグは「Electro house」。サンプリング元明記あり。拠点はアメリカ。サンプリング元楽曲はゲーム『勝利の女神:NIKKE』(2022年)のBGM。
か*****l	N*****E	2021年頃	Caitlin Myers「Never Gonna Give You Up (Japanese Version)」(2021年)	著作権イラスト:テレビアニメ「機動戦士ガンダムZZ」(1986-1987年)	Bandcamp掲載情報では拠点はアメリカ(バージニア)。
H**** **t	M**** **e	2017年頃	Nissy(西島隆弘)「ハプニング」(2016年)	アニメ風イラスト(ゲーム「ダンガンロンパ」(2010年)のキャラクターのファンアート)	メインのタグは「Anime Groove」。サンプリング元明記あり。Bandcamp掲載情報では拠点は日本。
F**** **y	A**** **R	2015年頃	Eastern Gang「Charlotte」(1979年)	著作権イラスト:OVA「バブルガムクライシス」(1987-1991年)	拠点はオーストラリア(ブリスベーン)。プロフィール画像は著作権イラスト:OVA「メガンゾーン23」(1985年)
*****	S***** **e	2017年頃	佐藤奈々子「サブタレニアン二人ぼっち」(1977年)	アジア系女性の写真(詳細不明)	Bandcamp掲載情報では拠点はアルゼンチン(ブエノスアイレス)。
S**** **女	S**** **i	2017年頃	paris match「Angel」(2003年)	オリジナル(漫画風イラスト)	Bandcamp掲載情報では拠点は日本(横浜)。
F**** **e	S**** **I	2020年頃	黒沢律子「HOT BOY」(1990年)	キャプチャ画像:映画「修羅雪姫 怨み恋歌」(1974年)	サンプリング元明記あり。拠点はベリーズ。

i*** ***)n	m***y	2020年頃	Pink Rhythm「more and more」(1985年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「美少女戦士セーラームーン SuperS」(1995-1996年)	メインのタグは「edit」。サンプリング元明記あり。プロフィール画像はキャプチャ画像(OVA「GOLDEN BOY さすらいのお勉強野郎」(1995-1996年))。拠点はカナダ(モントリオール)。
✨*** ***)✨	Q*9	2021年頃	Jerry Galeries「Rat Race City」(2017年)	オリジナル	拠点はオーストラリア(パース)。
H** ***) ***)	S*** ***)t	2020年頃	World's Famous Supreme Team「Hey DJ」(1984年)	オリジナル	サンプリング元明記あり。拠点はポーランド(ワルシャワ)。
f*** ***)l	b*** ***)y	2018年頃	アメリカのアニメ「アバター 伝説の少年アン」(2005-2008年)のBGM	キャプチャ画像: テレビアニメ「セーラームーン」シリーズのいずれか	メインのタグは「Lo-Fi Hip Hop」。拠点は日本(福生)。
D*** ***)e	M** ***)p	2016年頃	高村亜留「恋のやりくり」(1985年)	オリジナル(漫画風イラスト)	拠点は日本。
L***y	M*** ***)a	2019年頃	Cindy「Must Be Lucky ~愛の国へ~」(1990年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	拠点はアメリカ(カリフォルニア)。
R***.	C*** ***)	2016年頃	Kwick「You're the Kind of Girl I Like」(1981年)	オリジナル	Bandcamp 掲載情報では拠点はイタリア(シチリア)。
カ ** ***) ***) ***) ***)E	E***k	2015年頃	佐藤博「シャイニー・レディ」(1985年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「めぞん一刻」(1986-1988年)	拠点はアルゼンチン(ブエノスアイレス)。
S*** ***) ***) ***) ***)S	D*** ***)d	2015年頃	Cathi Linn「Dancing With The Sunshine」(1984年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「美少女戦士セーラームーン」(1992-1993年)	プロフィール画像もセーラームーンの画像。Bandcamp 掲載情報では拠点はロシア(エカテリンブルク)。サンプリング元楽曲はテレビアニメ「CAT'S EYE」(1983-1984年)のエンディングテーマ。
I* ***) ***)n	N*** ***) ***)o	2017年頃	松任谷由美「Man In The Moon」(1990年)	オリジナル	メインのタグは「Babymaker 2」。Bandcamp 掲載情報では拠点は韓国(ソウル)。楽曲中にテレビアニメ「セーラームーン」

					ン」の変身時の音もサンプリングされている。
ス***れ	サ***** E	2019年頃	今井美樹「rtour」(1996年)	オリジナル(アニメ風イラスト)	プロフィール画像はアニメ風イラスト。Bandcamp掲載情報では拠点はペルー。
H*** ** ***e	D****K	2016年頃	Patti Drew「Hard to Handle」(1968年)	オリジナル	メインのタグは「remix」。拠点はカナダ。
D*****	L****E	2016年頃	Gene Dunlap「Love Dancin' (feat. The Ridgeways)」(1981年)	キャプチャ画像: 日本人女性(水原希子)	サンプリング元明記あり。Bandcamp掲載情報では拠点はイギリス(ブライトン)。
M***** ***e	T**** **a	2018年頃	亜蘭知子「Midnight Pretenders」(1983年)	オリジナル(レコードジャケット風、日本語文字あり)	拠点はメキシコ。
S*** **e	N**** **o	2017年頃	カルロス・トシキ&オメガトライブ「Stay GIRL, STAY PURE」(1988年)	オリジナル	メインのタグは「Babymaker 2」。Bandcamp掲載情報では拠点は韓国(ソウル)。楽曲中にテレビアニメ「セーラームーン」の変身時の音もサンプリングされている。
D***** ** *Y	P**** **o	2022年頃	中原めいこ「Daybreak in NY」(1990年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「セーラームーン」シリーズのいずれか	サンプリング元明記あり。プロフィール画像はアニメ風イラスト。Bandcamp掲載情報では拠点は韓国。
I**** ** **T	D**** ** **o	2016年頃	当山ひとみ「セクシィ・ロボット」(1983年)	オリジナル	Bandcamp掲載情報では拠点はイギリス。
M***** ** ** * **** ** ** *****s	P***** **s	2014年頃	Nujabes Feat. Shing02 「battlecry」(2004年)	オリジナル	メインのタグは「Electro-Soul」。サンプリング元楽曲はテレビアニメ「サムライチャンプルー」(2004年)のオープニングテーマ。Bandcamp掲載情報では拠点はアメリカ(ニューヨーク)。
S**** ** ** * ***** ** ** ***** ***)	D*****d	2016年頃	Haywoode「A Time Like This」(1983年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「美少女戦士セーラ	プロフィール画像もセーラームーンの画像。Bandcamp

				ームーン R」 (1993-1994 年)	掲載情報では拠点はロシア (エカテリンブルク)。別のアーティストによる Future Funk 楽曲のリミックス。
3** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** e	J**** ** **n	2016 年頃	Alexander O'Neal 「Criticise」(1987 年)	キャプチャ画像: テレビアニメ「魔法の天使クリィミーマミ」(1983-1984 年)	Bandcamp 掲載情報では拠点はイギリス。
T** ** ** ** ** ** **e	b****m	2016 年頃	Junior「Mama Used To Say」(1982 年)	80～90 年代に Windows の PC で使用されたヒューレット・パッカード社製ツールの画像	拠点はアメリカ (ロサンゼルス)。
G***** *****s	I** **i	2021 年頃	Chronium 「Time Traveler」(1979 年)	オリジナルのアニメ風イラスト	メインのタグは「Nu Disco」。拠点はメキシコ (メキシコシティ)。
y**** ** ** * ** **d	b*****y	2019 年頃	アメリカのアニメ「レジェンド・オブ・コーラ」(2012-2014 年) の BGM	キャプチャ画像: 劇場アニメ「となりのトトロ」(1988 年)	メインのタグは「Lo-Fi Hip Hop」。拠点は日本 (福生)。
E**Z	E*.	2025 年	宇多田ヒカル「Automatic」(1999 年)	キャプチャ画像: OVA アニメ「サンクチュアリ」(1996 年)、風景写真 (大阪)	メインのタグは「Edit」。拠点はアメリカ (ワシントン D.C.)。
W***** ** ** ** *****]	A** ** ** ** ** **e	2015 年頃	森高千里「ミーハー」(1988 年)	著作権イラスト: テレビアニメ「魔法のスターマジカルエミ」(1985-1986 年)	メインのタグは「Island Funk」。拠点はカナダ (バンクーバー)。
U***** ** ** ** _	C***** ** ** ** _	2022 年頃	Atlantic Starr「One Love」(1986 年)、宇多田ヒカル「しあわせになろう」(2002 年)、Perfume「Wonder2」(2006 年)	オリジナル	サンプリング元明記あり。イギリスのアニメ「The World of Peter Rabbit & Friends」音声もサンプリングされている。拠点はマレーシア。
涙****て	P**** **o	2022 年頃	小川範子「涙をたばねて」(1988 年)	キャプチャ画像: サンプリング元楽曲の MV	サンプリング元明記あり。プロフィール画像はアニメ風イラスト。Bandcamp 掲載情報では拠点は韓国。
S* **e	A****y	2016 年頃	Phyllis Hyman「You Know How to Love Me」(1979 年)	アジア系女性の写真 (詳細不明)	メインのタグは「Disco」。サンプリング元明記あり。プロフィール画像

					に、セーラームーン風の女性イラストあり。拠点はフランス (パリ)。
F****y	Y**** **e	2015年頃	レキシ「大奥〜ラビリンス〜 feat. シャカッチ」(2012年)	著作権イラスト:漫画「セーラームーン」	拠点はアメリカ (シカゴ)。
N* ****s	G***** **u	2016年頃	ハイ・ファイ・セット「水色のワゴン」(1984年)	キャプチャ画像:テレビアニメ「旦那が何を言っているかわからない件」(2014-2015年)	拠点はアメリカ (カリフォルニア)。

表 1. SoundCloud 上で「#future funk」のタグ付けがされた「Popular Tracks」の一部

V. 考察

まず、方法論的な限界について述べる。SoundCloud 上で検索される楽曲については、正確な公開時期が表示されず、「~months ago」、「~years ago」という表記になるため、2024年以前に公表された曲については正確な公開時期が不明である。また、クリエイター名やクリエイターのプロフィール画像については、当該楽曲公開後に修正・更新されている可能性がある。また、クリエイターの国籍(活動拠点)については、クリエイターの自称であり、正確でない可能性がある。また、SoundCloud による Popular Tracks の分類は、再生回数やお気に入りのランキング順ではなく、過去の視聴回数が多い曲から、今年公開されたばかりで視聴回数も少ないものまで、幅広くヒットするようなアルゴリズムになっているため、最もシーンが盛んだった時期の主要な楽曲を捉えきれていない可能性がある。また、楽曲に付けられるタグの個数や内容に制限が少ないため、最小限のタグ付けを行なっているケースから、無関係と思われる楽曲ジャンルまで幅広くタグ付けを行っているケースもあり、タグだけでは楽曲のジャンルについて判定することは難しいと考えられた。

以上のような限界があることから、調査目的に対して十分な結果となっているとは言い難い。しかしながら、この調査において見えた傾向として、大半のクリエイターが国外である一方で、サンプリングの対象となっている日本の楽曲やサムネイルに使われているアニメは、日本国内でもコアなファン以外知らないようなマイナーなものも数多く対象になっており、日本における流行とインターネットシーン上の人気との乖離がみてとれる。また、FutureFunk が登場し始めた2010年代前半頃までは、サンプリング元となる楽曲は、邦楽・洋楽双方とも、80年代が主な対象となっていたが、その後、2010年代後半になってくると、90年代以降の楽曲をサンプリングの対象とする楽曲も散見されるようになってくるなど、ジャンル内における流行の推移を一部可視化することができた。

なお、この調査を通して印象に残った点として、Future Funk がサンプリングを主体とするジャンルであるとはいえ、サンプリング元の楽曲のボーカルがしっかり聴き取れる長さで残っているケースが多く、中には楽曲の大半がそのまま使われているものも多かったことから、サンプ

リング元の調査・検索が比較的容易であったことがある。また、クリエイター側がサンプリング元の楽曲を明記しているケースも多く、楽曲のコメント欄でクリエイターやユーザーがサンプリング元の楽曲について質問して教え合うなどの文化が見受けられ、こうした境界の特徴が世界的に有名とはいえなかった日本の楽曲が拡散していく一助となったのだと改めて実感することができた。なお、サンプリング元楽曲・サムネイル画像の元ネタについては歌詞や画像の検索を元に筆者が判断したもの、SoundCloud 上のコメント欄のやりとりなどを元に記載しているが、間違っている可能性もあるのでご留意いただきたい。今後、この調査結果をもとに、シーンの中心となっていたコアなクリエイターを抽出・特定し、それらのクリエイターが過去に公開してきた Future Funk 楽曲を対象に整理を行うことで、より調査目的に合致した結果を得たいと考えている。

文献

1. 佐藤秀彦. (2019). 新蒸気波要点ガイド —ヴェイパーウェイヴ・アーカイブス 2009-2019. DUBOOKS.
2. 柴那典. (2024). ミームの幻視と音楽ビジネスの都市再開発. 日高良祐編 シティ・ポップ文化論. フィルムアート社.
3. 高橋幸治. (2021). 「シティ・ポップ」 はなぜ発掘されてしまったのか?— レトロトピアとしての未来. FAB, 2, 37-60.
4. Glitsos, L. (2018). Vaporwave, or music optimised for abandoned malls. *Popular Music*, 37(1), 100-118.
5. Ballam-Cross, P. (2021). Reconstructed nostalgia: Aesthetic commonalities and self-soothing in chillwave, synthwave, and vaporwave. *Journal of Popular Music Studies*, 33(1), 70-93.
6. 難波優輝. (2019). Future Funk とアニメーション: ふたつの夢の分析. *ユリイカ= Eureka*, 51(21), 201-213.
7. Kretzschmar, M., & Stanfill, M. (2024). The politics of credit in remix of Japanese popular culture: Between “an 80's Japanese disco floor” and “this remix is worthy of the actual game”. *International Journal of Cultural Studies*, 27(5), 639-657.
8. Sommet, M. (2020). Intermediality and the discursive construction of popular music genres: the case of ‘Japanese City Pop’. *Handai ongaku gakuho/Journal of Handai Music Studies*, 16.
9. 太田健二. (2024). データベース消費から読み解く シティポップ・リヴァイヴアル. 甲南女子大学研究紀要 I, (60), 109.

